



米国ネブラスカ州における 次世代（非食用原料）バイオディーゼル製造事業への参画について

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田賢二、以下「伊藤忠エネクス」）は伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡藤正広、以下「伊藤忠商事」）と共同で、米国石油精製、バイオ燃料、化学品大手 **Flint Hills Resources LLC**（本社：米国カンザス州ウィチタ市）の100%子会社 **Flint Hills Resources Renewable LLC** とバイオ燃料製造技術ベンチャー **Benefuel, Inc.**（本社：米国テキサス州アーヴィング市、以下「Benefuel」）が米国ネブラスカ州ビアトリス市で立ち上げる、年産5千万ガロン（約19万kl/年）の次世代バイオディーゼル製造事業に出資参画いたしました。このプラントの生産量だけで、現在の米国バイオディーゼル生産量の約5%に相当いたします。

これまでのバイオディーゼル製造技術では、原料油脂中に含まれる遊離脂肪酸が油脂をバイオディーゼルに変換する際の阻害要因となることから、高コストな精製工程を用いて取り除く必要がありました。Benefuelの中核技術である、多機能固体触媒と呼ばれる触媒技術を用いると簡単なプロセスで遊離脂肪酸も油脂と同時にバイオディーゼルに変換することができます。この画期的技術により、エタノール工場から出る低質コーン油や廃食油、牛脂などの動物油脂、非精製油などの遊離脂肪酸含有率の高い、安価な非食用原料を使用することが可能になります。一般的に、バイオディーゼル製造コストの70%~90%を原材料が占めることから、この特許取得済であるBenefuelのバイオディーゼルの製造技術は従来技術に対して高い優位性を持っています。

伊藤忠エネクスは、本技術によるバイオディーゼルの推進が地球環境問題、特に温室効果ガスの削減に寄与し、また伊藤忠エネクスのコア事業に深く関わるものであるとの認識のもと、本事業への出資参画を実施いたしました。

伊藤忠エネクスグループは、トラック向けのガソリンスタンド約150カ所を運営するエネクスフリー株式会社を含め、日本国内に約2,200カ所に上る系列ガソリンスタンドのネットワークを展開しております。国内で培ったリテールのノウハウを活かし、伊藤忠商事及びパートナー企業と協力しながら、モータリゼーションのスピードを増しているアジアへの展開を視野に、バイオ燃料ビジネスの取組みを進めてまいります。

- 伊藤忠商事概要

会社名	伊藤忠商事株式会社
URL	http://www.itochu.co.jp/ja/
本社所在地	107-8077 東京都港区北青山2丁目5番1号
代表者	岡藤 正広
設立年	1949

- Benefuel 概要

会社名	Benefuel Inc.
URL	http://www.benefuel.net
本社所在地	Irving, Texas, U.S.A.
代表者	Robert Tripp
設立年	2008

- Flint Hills Resources 概要

会社名	Flint Hills Resources LLC
URL	http://www.fhr.com
本社所在地	Wichita, Kansas, U.S.A.
代表者	Bradley J. Razook
設立年	1960

【本件に関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 調査広報部 IR 広報課／青柳

TEL 03-6327-8003